

いばらき 戦跡・平和マップ

- 戦後70年を迎えて -



左上:筑波海軍航空隊記念館(笠間市)
左下:元鹿島海軍航空隊の碑(美浦村)

右上:谷田部海軍航空隊記念碑(つくば市)
右下:駅南平和公園・平和の像「碧翔」(水戸市)

平和な未来を築くために

1951年に全国の生協は日本生活協同組合連合会を創立しました。朝鮮戦争の真只中のことです。創立にあたり「平和と、より良き生活こそ生活協同組合の理想であり、この思想の貫徹こそ現段階においてわれわれに課せられた最大の使命である」と宣言しました。いばらきコープは、この想いを受け継ぎ、二度と悲惨な戦争を起こさない未来を築く取り組みをすすめてまいりました。

戦後70年を迎えた2015年、戦争や被爆を体験した人々は減り、今では戦争の悲惨さや恐ろしさ知らない世代が多くなっています。しかし、私たちは多くの犠牲を生んだ過去を決して忘れてはなりません。

茨城県には多くの戦跡や資料館等がたくさんあります。いばらきコープでは、2007年に平和活動の委員会により「戦跡・平和マップ」がまとめられ、戦争の歴史を学ぶ活動をすすめてきました。毎年の「ピースアクション」では広島・長崎への組合員派遣の他、県内でも被爆体験者のお話会等を行ってきました。また、今年は映画「桜花」の製作や上映の応援をしています。今回、戦後70年という節目の年に合わせ、「戦跡・平和マップ」を再発行しました。組合員一人ひとりが平和について考え行動していくために、このマップが大きな役割を果たすことと期待しております。

最後に、取材・編集にあたりご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



理事長 佐藤 洋一

組合員理事
平和・ユニセフ担当



磯部 まりこ

今回、更新のための取材を担当しました。茨城県は海に面しているせいか海軍航空隊の戦跡が多く、水戸や日立などの空襲の痕跡も残っています。今の平和な世の中になる前に本当に多くの方々の犠牲があったのだと思い知らされました。今を生きる私達に出来ることは、戦争の事実を次の世代に語り継いでいくこと事なのではないでしょうか。戦争のない、核兵器のない平和な世界を創るために、ぜひ、ご家族で平和の施設や戦跡を訪れてみてください。

くらしの助け合いの会
下館地域
コーディネーター
元HOT・HEART代表
小川 孝子



私たちクックの会、バッハの会、あひるの会、ユニセフグループHOT・HEARTが平和グループとして活動し、大きな成果を残せたと自負できる「戦跡・平和マップ」がリニューアルされ、大変嬉しく思います。あれは戦後60年の際「茨城県の平和マップを作りたい」と熱望し、3年の月日を費やして作り上げたものです。手分けして当時のことを知っている方を訪ねたり、現地を訪れ写真を撮ったりしたことが懐かしく思い出されます。どうぞこのマップを平和の大切さを語り継ぐための手引きとして活用してください。

平和グループ
あひるの会代表



番場 たえ子

8年前の作成に関わりました。戦後70年、多くの犠牲の上に成り立つ平和。県内にも多くの戦跡が残されています。戦争の体験を知らない世代が多くなってきている今、知ること、知り得たことを伝えていくことが大事だと思います。私たちのグループはブロック委員会と共催でマップを参考にピースバスツアーを毎年実施しています。参加者からは「知らなかった」「来てよかった」などの感想が聞かれました。ぜひ、皆さまも今回更新された「戦跡・平和マップ」を持って身近な所から戦跡や施設を訪ねてください。



かつて人間爆弾と呼ばれた、知られざる特攻機があった。
その名は、「桜花」(おうか)
戦争と平和、命の尊さを現代に伝える 映画「桜花」

「桜花」は頭部に爆弾を充填し尾部に推進ロケットを装備する高速滑空機で、操縦者1名が搭乗する有人ロケット爆弾です。「桜花」は一式陸上攻撃機を母機とし、その腹下に懸吊されて運ばれ、敵部隊近くになると、桜花隊員が母機から口型の乗入口を通して「桜花」に移り、敵艦船との距離一万メートル高度三千メートル上空で、母機より離れロケットを噴射しつつ滑空して敵艦船に体当たりを行いました。

いばらきコープは、映画「桜花」を応援しています。

◆戦争と平和に関する展示施設等

① 1 噸爆弾痕と(株)日立製作所小平記念館

日立市幸町3-1-1 日立製作所敷地内
常磐自動車道日立中央IC下車 国道6号に出る



小平記念館



1 噸爆弾痕



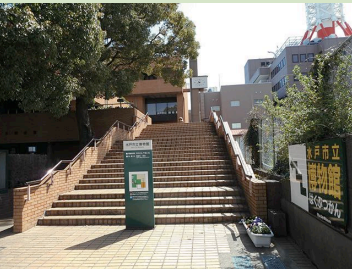
爆弾の破片

どちらも見学無料。事前に予約が必要です。
開館時間:10:00~12:00 / 13:00~16:00
休館日:土曜、日曜、祝日、事業所の休日
問い合わせ先:(株)日立製作所電力システム社
日立事業所 総務部ゲストサポートグループ
TEL 0294-55-0455

満州事変(1931年)以降、経済好転に伴い軍需産業都市として発展した日立市。1945年6月10日、日立事業所海岸工場は100機を越えるB29の1 噸爆弾攻撃をあげ工場の建屋は9割以上破壊され634人の従業員が亡くなりました(日立市全体では死者1520人)。この時落とされた1 噸爆弾の弾痕が工場内にあります。

また、小平記念館は昭和31年10月、日立製作所創業社長小平浪平氏の偉業と創業の志を永く後世に伝えるため、日立事業所内おだいら台に建設されたものです。創業～戦後復興のコーナーでは、1 噸爆弾で多くの犠牲者が出た当時の様子の写真や被害状況の記録等の展示物を見ることができます。

②水戸市立博物館



水戸市大町3-3-20 TEL 029-226-6521
水戸駅北口からバスで南町3丁目下車 常陸太田方面へ徒歩10分
入場料:無料(特別展は別料金) 開館時間:9:30~16:45(入館は16:15まで)
休館日:月曜、祝日(祝日が日曜の場合と特別展開催中は開館)、年末年始

展示の構成は民俗・歴史・自然・美術部門からなっています。歴史部門では、水戸空襲・水戸藩関係を中心に、戦時中から戦後の生活の様子を常時展示(B29プロペラ、焼夷弾等収蔵)。年2回程度水戸にちなんだテーマより特別展を開催しています。
*前もって連絡すれば学芸員の方から詳しい説明が受けられます。

③水戸市平和記念館



水戸市三の丸1-4-19 水戸駅北口から徒歩6分
問い合わせ先:水戸市役所文化交流課 TEL 029-291-3846
入館料:無料 開館時間:10:00~16:00
休館日:火曜、水曜、年末年始、その他臨時休業あり

水戸市の空襲による被災状況、戦時中の市民の生活等について、当時の資料や写真パネルを用いて展示しています。視聴覚コーナーがあり、戦争体験談の映像を見ることが出来ます。展示されている品々は、市民からの寄贈や、借用された物だそうです。

④弘道館 *2015年、文化庁の「日本遺産」に認定されました。



水戸市三の丸1-6-29 TEL 029-231-4725
水戸駅北口から徒歩で8分
入館料:大人200円・小中学生100円(団体は大人150円・小中学生80円)
見学時間:9:00~17:00(2/20~9/30) 9:00~16:30(10/1~2/19)
休館日:12/29~12/31

弘道館は水戸藩第九代藩主徳川齊昭が開設した藩校です。水戸空襲で弘道館正庁の庇が燃え出し、地元の人達が協力しあって消止めました。歴史的な建物がほとんど失われた中で由緒ある弘道館を守ることができました。現在も庇に焦げ跡が見えます。

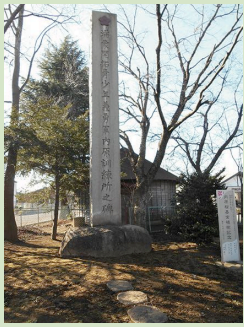
⑤水戸城薬医門 *県指定有形文化財



水戸市三の丸3-10-1
水戸駅北口から徒歩で10分 県立水戸第一高等学校入り口付近
*自由見学ですが学校敷地内の為迷惑がかからないように見学をお願いします。

水戸城内の建物の多くは幕末の尊王攘夷運動の中で焼失し、三階櫓も昭和20年の水戸空襲で焼失しました。薬医門が水戸城唯一の遺構として残ったのは、明治初期に初代茨城県令の安田宅表門として移築され、さらに昭和16年に市内の祇園寺に移されたのが幸いして両度の戦火を逃れたからだそうです。昭和56年祇園寺から水戸市に寄贈されたのを機会に旧所在地の本丸跡に復元されました。

⑥満蒙開拓青少年義勇団内原訓練所之碑・日輪舎記念館と内原郷土史義勇軍資料館



訓練所之碑と日輪舎記念館

水戸市内原町1497-16 TEL 029-257-5505
 内原駅より徒歩15分 入館料:無料 開館時間:9:00~16:45
 休館日:月曜(月曜祝日の場合は翌日)、年末・年始

義勇軍は満州開拓の国策の一つとして昭和13年設立、昭和20年まで存続しました。訓練所は満州に赴く前の2~3ヶ月の基礎訓練を行うために開設されました。敷地は40ヘクタール、300余棟の日輪兵舎があり、常時全国から数千人の15~19才の青少年が訓練を受けていました。内原郷土史義勇軍資料館(復元日輪兵舎あり)は、内原の資料館として見学できます。

渡満道路と桜並木



資料館



内原郷土史義勇軍資料館近く

満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練所ゆかりの道路です。昭和13年から昭和20年の終戦まで15才から19才までの全国から集まった青少年が、この道から駅へ向かい満州へと旅立ちました。

⑦筑波海軍航空隊記念館



記念館と号令台

笠間市旭町654 茨城県こころの医療センター敷地内 TEL 0296-73-5777
 北関東自動車道友部IC下車 直進約7分
 入館料:大人500円小~高校生350円 開館時間:9:00~17:00(最終入場16:00)
 年中無休(不定期休館日有)

昭和9年に霞ヶ浦海軍航空隊友部分遣隊として開設され、昭和13年に筑波海軍航空隊に改称。当初は戦闘機の練習航空隊だったのが、太平洋戦争末期には、特攻の養成所になりました。隊員達の家族宛の手紙や日記、写真の展示も有り当時の心情を知る事ができます。零式艦上戦闘機(ゼロ戦)等の展示もあり、周辺も含めて戦争遺構が残っている所は全国でも珍しいそうです。

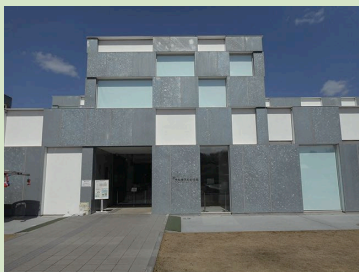
⑧土浦市立博物館



土浦市中央1丁目15-18 TEL 029-824-2928
 入館料:大人105円(75円)小~高校生50円(30円) ()内は団体料金
 開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)休館日:月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始

土浦市立博物館では、土浦幼稚園に伝わる青い目の人形を展示しています。青い目の人形は、昭和2年、シドニー・ルイス・ギュリック博士と渋沢栄一によって、日本とアメリカの「友達と平和の親善大使」としてアメリカから約12,700体が日本の子供達に贈られました。しかし、太平洋戦争が昭和16年にはじまり、敵国の人形であることを理由に、多くが壊されたり焼かれたりしました。茨城県内には、11体が現存しています。
 *青い目の人形は不定期展示のため電話で確認のこと。

⑨予科練平和記念館



阿見町大字廻戸5-1 TEL 029-891-3344
 常磐自動車道桜土浦IC下車国道125号バイパスを利用約15分
 入館料:大人500円(400円) 小~高校生300円(240円) ()内は団体料金
 開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)休館日:月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始

阿見町は太平洋戦争時に予科練(海軍飛行予科練習生)教育・訓練の中心地でした。記念館は、予科練に志願した少年達の青春群像を通して、戦争の記憶を後世に伝え、命の尊さと平和への認識を深める記念館です。館内は予科練の制服である「七つボタン」をモチーフに入隊から特攻まで7つの展示テーマに沿って展開されています。

⑩雄翔館(予科練記念館)・予科練慰霊碑



阿見町青宿121-1(武器学校内) TEL 029-887-1171
 武器学校前停留所あり
 入場料:無料 開館時間:9:30~16:30(入場は16:00まで)
 定休日:月曜(月曜が祝日の場合はその翌日)、年末年始

特攻隊員として飛んで行った隊員たちの飛行服、遺品等の展示館となっています。庭園(雄翔園)内に予科練慰霊碑、七つボタンで有名な歌碑、雄飛の松等、又入り口付近に戦車等多く展示がされています。

◆地域にある戦跡等

⑪風船爆弾放流地跡



わすれじ平和の碑

北茨城市大津町

常磐自動車道北茨城IC下車 国道6号を北上 美術館入口信号を右折 1km先を左折すぐ

風船爆弾とは太平洋戦争において大日本帝国陸軍が用いた兵器です。「ふ号兵器」という秘匿名称で呼ばれていました。ジェット気流を利用し、爆弾を気球に乗せ日本本土から直接アメリカ本土に爆弾を仕掛けるという本土空襲を行いました。大津、千葉県一宮、福島県勿来の海岸から大量に飛ばされました。生産個数9300個のうち1000個が到達しました。山火事、プルトニウム製造工場の送電線などに被害を与えました。

⑫特攻艇格納壕跡



北茨城市平潟町平潟港

常磐自動車道北茨城IC下車 国道6号を北上 平潟港入口の信号を右折

平潟港はモーターボート型特攻艇の「震洋」を装備した「第138震洋隊」の訓練基地があった場所です。第138震洋隊は、昭和20年6月10日の本土決戦に備えて設営されました。隊員は45名で全員が予科練(土浦)第14期修了者です。基地は福島県いわき市小名浜で、訓練のため平潟に回航され、この地で訓練を行いました。実際に出撃したことはなく、昭和20年9月20日に解散しました。トンネルはその特攻艇を隠していた格納壕の跡です。

⑬大銀杏



水戸市銀杏坂(水戸駅北口前)

水戸駅北口から徒歩で2～3分

昭和20年8月2日午前0時31分、アメリカ軍による水戸市街の焼夷弾爆撃が始まり、都市全体を焼き尽くすというものでした。水戸は火の海となり市街地の約8割が焦土となったとのこと。この水戸空襲で黒焦げになった銀杏の木が、現在もその場所に新しい芽を吹き、青々と葉を繁らせて戦後の水戸市民の平和を見つめています。

⑭延命地藏尊



水戸市棚町三丁目(県立水戸三高下)

水戸駅北口から徒歩で水郡線左折10分

防空壕で亡くなった犠牲者8人と地元出身の戦死者3人の霊を慰めるため、地元の人達が建立し毎年8月2日に供養が行われています。お参りされる人達の長寿を願って延命地藏と名前がつけられました。

⑮駅南平和公園



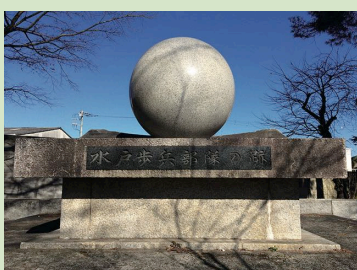
平和の像「碧翔」

水戸市城南2-13

水戸駅南口から徒歩で10分

昭和20年8月2日未明の水戸空襲は大きな衝撃を与え、その惨劇は今なお語り継がれています。公園にある平和の像「碧翔」は多くの市民と水戸市が共同して、戦争の悲惨さを語り継ぎ、再び戦禍の無い世界を希求する水戸市民の象徴として創設されました。像の前に築かれた記念碑には、水戸空襲や艦砲射撃等の戦災で犠牲になった370余名の名前を記載した「水戸市戦災犠牲者名簿」が納められています。

⑯歩兵第二連隊跡・水戸工兵隊記念碑



水戸歩兵部隊の跡碑



水戸工兵隊記念碑

水戸市袴塚3丁目茨城交通茨大前営業所前・茨城県武道館前の道路向い、文京1丁目茨城大学附属中学校東側道路沿い

歩兵第二連隊は明治7年創設。千葉の佐倉から明治42年春水戸に転営、現在の茨城大学の敷地にありました。歩兵第二連隊は昭和19年11月ペリリュー島で玉砕。「水戸歩兵部隊の跡」碑が堀原運動公園の向かいにあります。工兵第十四連隊も同年5月習志野から水戸に転営、現在の茨大附属中学校の敷地一帯を兵営としました。

⑰ 鉾田陸軍飛行学校跡



顕彰碑

鉾田市台濁沢

国道51号を水戸から鹿嶋へ向かい、台濁沢の信号を右折直進約2キロの美原球場前右折してすぐ右

鉾田陸軍飛行学校は昭和15年に開設され、軽爆、襲撃飛行隊幹部の教育訓練並びに研究が行われました。昭和13年に陸軍の航空軍備が増強され、ノモンハン事件による操縦士の不足を補充する必要もあって、従来、浜松飛行学校内に併立されていた重爆分科と軽爆分科が分離され、鉾田は独立した軽爆機専門の学校になりました。特攻隊の訓練基地ともなり計24隊が編成されたそうです。昼夜を分かたぬ猛訓練により多くの将兵が殉職された場所でもあります。

⑱ 桜花公園 神之池海軍航空隊跡



桜花練成の碑

鹿嶋市 住友金属鹿島製鉄所敷地内 住友金属正門と西門の間の県道沿い
自由見学 駐車場あり

「桜花」は大型飛行機に搭載され、目標地近くで切り離され、敵機に体当たりするために開発されました。頭部に爆薬量1200kg、ジュラルミンの胴体後部に推進用の火薬ロケット3本を装備、ロケット噴射と滑空を繰り返しながら目標に到達しようとする人間ロケット爆弾です。昭和19年10月1日721航空隊が百里基地で編成され、その後鹿嶋市の神之池基地で訓練を開始しました。公園は平成5年に開園され園内には掩体壕・桜花碑があり、壕内には桜花の復元機が展示されています。

⑲ 下館陸軍飛行場跡



飛行場通りの看板



元飛行場跡の道路

筑西市(旧真壁郡関城町)

国道50号線玉戸(水戸方面→左折)

昭和13年5月17日、黒子村と河内村の地主が招集され下館飛行場建設の用地(215町歩)の用地買収を提示され、翌14年5月17日に開場し、熊谷陸軍飛行学校下館分校となり少年飛行兵訓練基地となりました。19年秋以降、アメリカ軍の本土空襲が本格化すると、迎撃基地となり、さらに特攻隊の出撃基地となりました。

⑳ 谷田部海軍航空隊記念碑



記念碑



谷田部神社

つくば市上横場2573-1

常磐自動車道谷田部IC下車 筑波学園病院敷地内

昭和7年筑波郡谷田部町に霞ヶ浦海軍航空隊の補助飛行場が建設され、予科練の霞空と連動して練習機専修の分遣隊を設置する事としたそうです。分遣隊は昭和14年に独立。後に首都防空を主任務とする実戦部隊となり、沖縄戦以後は特攻隊が編成されました。飛行場にあった谷田部神社も近くに移設されました。記念碑は2013年に建てられました。常磐道にかかる橋に「飛行場橋」の名前があります。

㉑ 戦没者の墓(法泉寺)



土浦市大岩田1616

国道125号霞ヶ浦高校前バス停より上り坂徒歩5分

昭和20年6月1日、阿見町青宿882番地鹿島神社西側の防空壕が攻撃を受け、当日予科練生281名、教官11名、その他119名が亡くなりました。遺体を茶毘に付して法泉寺に戦没者の墓が建てられ事実を顕彰しています。

㉒ 北砲台



土浦市右粕

土浦市第六中学校の裏山

砲台の開設は昭和18年頃です。3ヶ所の砲台の中で鳥山砲台が最も新しい性能の優れた高角砲を備えていました。現在は、砲台跡であった事を示す、深照燈の基本部分が林の中に残っています。南砲台の跡地は現在埋め戻されています。

②3 海軍航空殉職者慰霊塔



阿見町4002
茨大前バス停前

海軍がはじめて航空技術の訓練を始めた大正5年(1916年)～昭和20年(1945年)終戦までの日本国海軍航空隊員中訓練等で殉職された5,573柱の御霊が祭られています。1925年霞ヶ浦海軍航空隊に霞ヶ浦神社が建立され、春、秋の祭りが行われていましたが、昭和30年現在地に慰霊塔を建立し、ここに御霊は永久に安らかに鎮まる事となりました。(当地説明文より)

②4 霞ヶ浦海軍航空隊跡(方位盤・門柱及び塀・軍艦旗掲揚塔・第一士官宿舎階段親柱)



阿見町中央3-21-1 茨城大学農学部敷地内

霞ヶ浦海軍航空隊の本部があった一角は、現在茨城大学農学部になっていて、関連史跡が多く残されています。来賓用入口より左側の植え込みの中に2m×2m位のコンクリート作りの方位盤・同窓開館(霞光荘)内に第一士官宿舎階段親柱、開館南側に軍艦旗掲揚塔があります。道路を挟んで反対側のグランド入り口に大谷石の正門・塀が残されています。



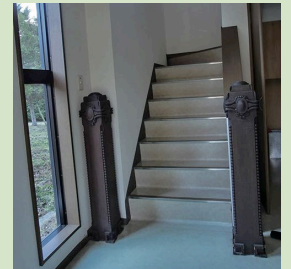
方位盤



門柱及び塀



軍艦旗掲揚塔



第一士官宿舎階段親柱

②5 有蓋掩体壕(ゆうがいえんたいごう) * 阿見町指定文化財



阿見町阿見5383-2(山田宅敷地内)
医大前バス停より徒歩10分位

入場料:無料 * 個人敷地内の為迷惑のかからないよう見学をお願いします。

昭和19年秋以降に航空機を隠す目的で飛行場内や民有地に造られました。終戦後民間に土地と共に払い下げられました。現在当家では物置として利用されています。

②6 元鹿島海軍航空隊跡(霞ヶ浦湖岸施設) * 土木学会選奨土木遺産



元鹿島海軍航空隊之碑

稲敷郡美浦村大山

国道125号を稲敷方面へ 美浦村の大谷の信号を左折約5キロ先、霞ヶ浦臨湖実験施設入口の手前を右折して左側 自由見学

元鹿島海軍航空隊の施設は、昭和11年1月から建設が始まり、翌昭和12年に練習基地が完成し、日中戦争たけなわの時に練習航空隊として開隊されました。昭和20年5月5日に練習航空隊の指定を解除され、鹿島北浦派遣隊となり鹿島航空隊と呼ばれるようになりました。完成から70年たった現在でも、この施設は治水施設として活躍しています。元鹿島海軍航空隊之碑があります。

取材・編集にご協力いただいた皆さま(敬称略・順不同)

(株)日立製作所小平記念館・筑波海軍航空隊記念館・水戸市立博物館・弘道館・水戸市平和記念館・法泉寺(土浦市大岩田)・あみ観光ボランティアガイドの会・土浦市立博物館・公益財団法人 海原会・陸上自衛隊 土浦駐屯地 広報援護班・予科練平和記念館・茨城県生活協同組合連合会・いばらきコープ南西ブロック委員会 三谷敦子・いばらきコープ監事 二宮久美子

行ってみよう たずねてみよう



※お近くの戦跡の情報がありましたらお寄せください。
 ※戦跡や施設を訪れた感想をお寄せください。

◆戦争と平和に関する展示施設等

- | | |
|--|----------|
| ① 1 噸爆弾痕と(株)日立製作所小平記念館 | 日立市 (P2) |
| ② 水戸市立博物館 | 水戸市 (P2) |
| ③ 水戸市平和記念館 | 水戸市 (P2) |
| ④ 弘道館 | 水戸市 (P2) |
| ⑤ 水戸城薬医門 | 水戸市 (P2) |
| ⑥ 満蒙開拓青少年義勇団内原訓練所之碑・日輪舎記念館と内原郷土史義勇軍資料館渡満道路と桜並木 | 水戸市 (P3) |
| ⑦ 筑波海軍航空隊記念館 | 笠間市 (P3) |
| ⑧ 土浦市立博物館 | 土浦市 (P3) |
| ⑨ 予科練平和記念館 | 阿見町 (P3) |
| ⑩ 雄翔館(予科練記念館)・予科練慰霊碑 | 阿見町 (P3) |

◆地域にある戦跡等

- | | |
|--|-----------|
| ⑪ 風船爆弾放流地跡 | 北茨城市 (P4) |
| ⑫ 特攻艇格納壕跡 | 北茨城市 (P4) |
| ⑬ 大銀杏 | 水戸市 (P4) |
| ⑭ 延命地藏尊 | 水戸市 (P4) |
| ⑮ 駅南平和公園 | 水戸市 (P4) |
| ⑯ 歩兵第二連隊跡・水戸工兵隊記念碑 | 水戸市 (P4) |
| ⑰ 鉦田陸軍飛行学校跡 | 鉦田市 (P5) |
| ⑱ 桜花公園 神之池海軍航空隊跡 | 鹿嶋市 (P5) |
| ⑲ 下館陸軍飛行場跡 | 筑西市 (P5) |
| ⑲ 谷田部海軍航空隊記念碑 | つくば市 (P5) |
| ⑲ 戦没者の墓(法泉寺) | 土浦市 (P5) |
| ⑲ 北砲台 | 土浦市 (P5) |
| ⑲ 海軍航空殉職者慰霊塔 | 阿見町 (P6) |
| ⑲ 霞ヶ浦海軍航空隊跡(方位盤・門柱及び塀・軍艦旗掲揚塔・第一士官宿舎階段親柱) | 阿見町 (P6) |
| ⑲ 有蓋掩体壕 | 阿見町 (P6) |
| ⑲ 鹿島海軍航空隊跡(霞ヶ浦湖岸施設) | 美浦村 (P6) |

